

居神神社 「勝って兜」碑 建設記念講演



居神神社



「勝って兜」碑

一昨年の春、居神神社の創建が永正17年(1520)と判明しました。

伊勢宗瑞他界1年後で、敵将三浦義意を祀っていることから二代氏綱の創建と考えられます。氏綱は『北條氏綱置文』という遺訓も残しています。亡くなる2ヶ月前の五箇条の置文で、嫡子氏康のための遺言とも言えますが、一般的には家訓とされています。その結びの言葉に「勝って甲(かぶと)の緒を締めよ、を忘れ給ふへからず」と、あります。

この「勝って兜～」の格言は、「氏綱置文」が我が国初出とされています。

こうしたことから昨年末、居神神社に「勝って兜」碑が建設されました。これを記念して、氏綱公の事績と「勝って兜」碑の由縁について講演会を開催しますので、ご参加ください。

- ◆ 講師：石井啓文氏(キャンパス講師)
(講師略歴は裏面をご覧ください)
- ◆ 日時：2月8日(木)14:00～15:30(受付:13:30～)
- ◆ 会場：さがみ信用金庫板橋支店 会議室
※駐車場が狭いため、公共交通機関をご利用ください。
(会場アクセスは裏面をご覧ください)
- ◆ 費用：1,000円
- ◆ 定員：30名(先着順)

【申込方法】

- ◇ 申込先・問合先 NPO法人小田原市生涯学習推進員の会(生涯学習センター内)
- ◇ 電話受付:0465-33-1890、生涯学習相談窓口(けやき2階)へ直接申込
又は、キャンパスおだわらホームページから <http://www.campusodawara.jp/kouza/>

講師紹介 石井啓文 (いしいひろふみ) 氏 プロフィール

1940年、小田原市に生まれる。1996年、同市の生涯学習「きらめき☆小田原塾」の発足とともに市民教授として参加、「小田原の郷土史再発見」をテーマに活動、キャンパス講座を始め各種団体や学校等の要請による自主講座等は70回を超える。また、小田原史談会でも、同テーマで会報『小田原史談』に60編以上を発表。この間、『小田原の郷土史再発見』『日本最古の水道「早川上水」を考える』『三嶋暦・相模国の弘暦網』『小田原の梅～歴史背景の謎を追う～』『慶應戊辰小田原戦役の真相』『北條五代を支えた女性たち』の著書を発表。『風土記の会』『漢文竹林会』主宰。現在、キャンパスおだわら キャンパス講師。



【会場アクセス】 さがみ信用金庫 板橋支店

〒250-0034 神奈川県小田原市板橋100

※駐車場が狭いため、公共交通機関をご利用ください。

【バス】

小田原駅より箱根方面行バス
「板橋見附」下車 徒歩2分

【電車】

箱根登山鉄道「箱根板橋駅」下車
徒歩3分

